

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年10月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673000107
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム あったかハウス伊集院
所在地	鹿児島県日置市伊集院町下神殿1366番地1 (電話) 099-272-7577
自己評価作成日	平成29年9月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年10月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

あったかハウス伊集院は「ゆっくり、ゆったり、けれどももしっかり」の理念の基に日本一やさしい施設を目指しているグループホームです。18名の利用者様が1人1人安心して暮らせるようにしています。また個性を活かせるよう若手から年輩のスタッフが仲良く協力しながら支えています。食事面では地域の方やご家族様より旬の野菜を頂いたり庭の畑で栽培した野菜を使って季節感を取り入れた食事を提供しています。行事で作る手作りおやつも「美味しい」と大好評です。地域との関係性も良く地域交流会などのホームでの行事に参加してもらったり地域のイベント、行事に参加させてもらったりしています。協力医療機関として、ゆのもと記念病院、まえはらリハビリクリニックがあり医療との連携も十分に24時間体制で診察も受けられ安心して生活を送ることが出来ます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は1戸建の2ユニットのグループホームである。
- ・協力医療機関と24時間体制で医療連携ができています。リハビリや定期的な検診、看護師の訪問など疾病の予防や早期発見に努め利用者が安心して生活できるよう支援している。
- ・母体法人は各地域にグループホームを7ヶ所運営、共通理念を基本に理念に沿った年間目標・個人目標を掲げ、理念に沿ったケアを提供している。
- ・地域とのつながりを大切にし、地域行事や町内会活動へも積極的に参加、3ヶ月毎に地域交流会を開催し地域住民との交流を図っている。
- ・利用者が穏やかに過ごし続けるため、家族や地域が共に支え合う関係作りに努め、「ほっこりやさしい」ケアを目指している。
- ・職員のスキルアップに積極的に取り組んでおり、外部研修や施設内研修を計画的に実施、資格取得に向けた勤務や資金面の補助などバックアップ体制がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を掘り下げて職員全体で話し合い具体的なケアについて意見の統一を図っています。理念が見える所に貼り必ず触れ確認しあうようにしています。	理念は目につきやすいフロアや詰め所に掲示して、申し送り時に唱和、職員会議時にはケアの振り返りを行っている。理念に沿った年間目標・個人目標を掲げ、意識の統一と理念に沿ったケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所の行事等には民生委員さんに声掛けをしてもらい地域の方々に参加していただいています。また地域の行事も自治会長さんから声を掛けていただき出来るだけ参加をし利用者様と交流していただいています。	町内会に加入、地域の運動会や花火大会・清掃活動などに積極的に参加。事業所行事である敬老会や夕涼み会・地域交流会などには地域住民の参加がある。散歩時のあいさつや野菜などの差し入れがあり、中学・高校生の体験学習や実習・演芸ボランティアの受け入れ等、日常的に地域と交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	いつでも見学者を受け入れ、介護相談等聞いています。また人材育成として地域の中学校の職場体験や高校の実習、ボランティア等、積極的に受けいれています。地域の会合、様々な研修に参加し認知症ケアの啓発に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>行政、地域代表、家族代表の方等に参加して頂き前回の会議で取上げられた検討事項や懸案事項についてその経過を報告し質問や意見、要望を受けるようにしています。</p>	<p>会議は、事業所の現状や活動報告・地域活動・外部評価報告などを行い、参加者からは行事についてや災害時の対応について等の質問や意見交換が行われている。出された意見や提案はケアや運営に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>グループホーム連絡協議会に参加し事業所の実情や取り組みを伝えています。また地域交流会等の行事において社会福祉協議会の方と連携を図りボランティアの方を紹介していただいています。</p>	<p>市の担当者とは相談や書類関係で出向いたり電話での相談を行っている。運営推進会議に参加してもらっている。市の相談員の受け入れやグループホーム連絡協議会を通して連携や市主催の研修会へも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎日の申し送り時や毎月のミーティング時に気づかない内に身体拘束になっていないかを話し合っています。また行動制限がないように日頃からさりげなく見守りし、安全確保しています。</p>	<p>指針・マニュアルを基に、法人全体や事業所で計画的に研修会や事例検討会を実施している。委員会が中心となり状況に応じて付添見守りや気分転換を図るなど、日頃から玄関施錠、言葉による行動制限も含め、全職員が入居者の自由な暮らしを支えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の勉強会やミーティングなどで話し合いをしています。また法人内で行われる研修にも積極的に参加し高齢者虐待防止法に関する理解、浸透や遵守に向け虐待の防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所でも勉強会を開いたり、また法人内で行なわれる研修にも出来るだけ参加をし理解を深めるようにしています。対応が必要と思われる利用者様がいらっしゃる場合は随時、職員に説明、アドバイスをしないながら利用者様の支援に結び付けています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時にご利用者様、ご家族様に時間を十分にとりいただき、利用料金や起こりうるリスク、重度化や看取りについての対応、医療連携体制、退居を含めた事業所の対応可能な範囲について詳しく説明し同意を得るようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時にご家族様、利用者様にご意見やご要望がないかお聞きしています。玄関先にはご意見箱を設置しています。定期的に運営推進会議や家族会を行ないご意見をお聞きしたりアンケートをとりその後の運営に役立てています。	本人からは日常の支援の中で思いを聞いている。家族からは毎月の状況報告時や面会時に意見や要望を聞くよう心がけている。家族会やアンケート・意見箱・面会簿を利用して意見や要望の把握に努めている。出された意見や要望は職員で話し合い、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日の申し送りや月1回のミーティング時に要望や意見を聞いています。日常会話の中から職員の意見や提案、苦情等を聞き事業所内で対応出来ない時は理事長に報告、相談しています。</p>	<p>管理者はコミュニケーションを大切にし、日頃の声かけや毎朝のミーティング・職員会議・申し送りノート等から意見や要望を把握している。年1回、自己評価や上司評価を行い、面談も随時行っている。意見や提案は管理者会議などでも検討し、食材仕入れの効率化で業務改善につながっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人をあげて職員の資格取得に向けた支援を行なっています。スタッフ同士協力し合い、やりがいや向上心を持って働ける職場作りを心掛けています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修には出来るだけ対象に沿った職員が参加できるように、また全職員が色々な研修に参加できるようにしています。研修に参加した際には毎月のミーティング時に発表してもらい報告書は全職員が閲覧できるようにしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市のグループホーム連絡協議会に参加をし関連の事業所や他のグループホーム等と交流を持ち職員同士で日々のサービス等について意見交換を行い質の向上に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用の前によく話し合い、利用者様が安心して生活できるようにご本人、ご家族様との信頼関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接時に不安なことに耳を傾けながら今後の要望やこれまでのご苦勞などをお聞きし、信頼関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用の前に今までご利用されていたサービス提供事業所の職員から現況をお聞きしたりご本人、ご家族様から情報収集を行い、今いちばん何を必要とされているかを見極め状況に応じた対応が出来るよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様お一人お一人を人生の大先輩として尊重しつつ、生活を共にする者同士として、対等な立場で接し互いに支えあう関係を築けるよう心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のお便りや電話等で利用者様の近況や体調に関する事等をお伝えしています。年に数回ある催しなどに参加して頂くことで情報交換を行い共にご本人を支えていく関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や友人、知人の方々が面会に来られた時はお茶をお出ししゆっくりと談笑していただける場所を設定しています。また3ヶ月に1度、地域の方々と交流も行ない話をしながらお茶を飲んだり一緒に過ごす時間を作っています。	入所時のアセスメントや日頃の会話などから情報を把握している。地域行事への参加や事業所で3ヶ月毎に地域の交流会を開催するなど支援している。電話の取次ぎや手紙の支援、面会に来やすい環境を心がけ、丁寧に対応して訪問しやすい雰囲気作りに努めている。面会者も多い。馴染みの美容室への外出、買物支援もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの利用者様が穏やかに過ごす事が出来るように、職員が間に入り話を聞いたり相談にのったりしながら利用者様同士の関係に配慮をするように心掛けています。また、利用者様が孤立してしまわないよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	地域の方々が多いので、お会いした際は、常に声掛けをしています。季節の野菜を頂くこともあります。ご家族様からの相談にのったりと、サービス終了後も本人、ご家族様との関係を大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で会話、表情等より各々の希望や意向を確認するようにしています。意思疎通の困難な方にはご家族様を交えて検討しています。	日常会話や表情・しぐさから汲み取るよう心がけている。家族の面会時に会話などから推し測ることもある。利用者への担当を決めて、きめ細かく思いや意向の把握に努めている。意思表示が難しい場合は、家族や関係者を交えて検討し本人中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時にご本人、ご家族様から今までの生活歴などを聞きとる様にしていきます。細かい部分に関してはその後の面会時や日常会話の中で話を聞き少しずつ情報収集していき把握するように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お一人お一人の生活のリズムやペースを理解しその方の出来る事、出来ないことにも注目し現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族様には日頃の関わりの中で意見や要望をお聞きし反映されるようにしています。職員全員で意見交換をし利用者様の現状にあった介護計画作成が出来るよう活かしています。	本人や家族の思いを聞き、職員や関係者を交えながら話し合い、介護計画を作成している。毎日のチェックや申し送りノート・介護記録を基にモニタリングを6ヶ月毎に実施、状況変化時には随時見直しを行い、状況に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日ケアプランやモニタリングチェックを行い、本人の様子、言葉等、気付いた事を個別記録に記録し全職員がいつでも把握出来るようにし、情報の共有、介護計画の作成の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご利用者様やご家族の要望に臨機応変に対応し、満足していただけるように努力しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者様が安心して地域での暮らしが続けられるよう警察の方が巡回で来て下さったり民生委員、自治会長、ボランティア、社会福祉協議会等の協力をお願いしています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>まえはらりハビリクリニック、ゆのもと記念病院と医療連携を図っています。また入所前からのかかりつけ医についても連携を取りながら常にご家族様と連絡を取り合うようにしています。</p>	<p>利用者の殆どが協力医療機関をかかりつけ医とし、週1回の往診と訪問看護等で連携が図られている。月1回の訪問歯科利用、他科受診については家族の協力を得ながら必要時には職員で対応、適切な医療が受けられるよう支援している。緊急時には母体医療機関からの協力がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週に1度、医療連携を結んでいる看護師に日頃の健康状態や医療面での個々の様子や状況等を報告、相談しています。また特変時には看護師に連絡し相談、助言を頂いています。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時には詳しく情報提供を行い病院との連携を十分に図っています。また病院にも足を運び病院関係者から利用者様の状態を聞いたり、ご本人にも面会し話をしたり元気になって早く帰ってこられるよう声掛けしています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化した場合や終末期の希望などを所定の書類を基にご家族様、ご本人に説明、また聞き取りを行い主治医、ご家族様、職員が連携を図り安心して最期を迎えられるよう意思を確認しながら支援に取り組んでいます。	入居時に重度化や終末期に伴う看取りの方針を説明し同意を得ている。状態悪化時には主治医を交えた話し合いで法人全体で本人や家族の意向に沿った対応を行っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	全職員が消防署の方の協力を得て2～3年おきに救急救命講習を受けています。また詰所に緊急時のマニュアルを貼っており全職員が対応出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>利用者様、全職員と一緒に年2回消防訓練を実施しています。 （うち1回は夜間想定）地域の方達にも2ヶ月に1度の運営推進会議の時や地域交流会の時に参加の声掛けをしています。</p>	<p>マニュアルがあり、年2回昼夜想定での防災消防避難訓練を行っている。法人全体の緊急連絡網があり協力体制が整っている。地域交流会等で地域住民の参加協力を依頼している。日頃から防災についての話し合いを持ち職員の意識付けを行っている。通報装置・スプリンクラーを設置している。災害時のレトルト食品・缶詰・梅干・水が備蓄され、チェック表で管理されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレの声掛けの時にはご本人だけわかる位の声の大きさと声掛けし誘導しています。こちらの業務に合わせるのではなくご本人のペースに合わせた声掛けに努めています。	マニュアルがあり、定期的に勉強会を開催し確認と意識の統一を図っている。入室時の声かけや排泄時の支援等、人格の尊重とプライバシーに配慮した声かけや対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お一人お一人に合わせた声掛けを行い小さな事でも職員ではなくご本人に決めていただくよう働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の体調や気分に合わせて一人ひとりのペースを大切にしながら可能な限り個別性のある支援が出来るよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日の着替え等は基本的にはご本人の意向で決めていただいています。自己決定が難しい利用者様にはご本人の好みを考慮して一緒に考え気持ちに添う支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえを手伝っていただいたり食事の後片付け（お盆拭き、テーブル拭き、お茶碗拭きなど）を一緒にしていただいています。職員も利用者様も大きなテーブルを一緒に囲み話をしながら食事をしています。	嗜好調査やアンケート調査を行い、日常の生活状況から食事形態の工夫や代替え食の対応を行っている。季節の食材や菜園で収穫した野菜、差し入れの野菜を活用し、下ごしらえや台拭きの手伝いを職員と一緒にしている。行事食やお弁当・鍋物・おやつも含め、手づくりを心がけ、食事が楽しみなものになるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人お一人の好き嫌いを把握し嫌いな献立の時には別メニューを提供しています。水分量が少ない方にはお茶以外にもポカリなどを準備して小まめに水分補給を行い、嚥下状態の悪い方には水分にとろみをつける、ミキサー食やゼリー食を提供するなど個々に合わせたメニューをお出ししています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、職員の声掛け、介助により口腔ケアを行なっています。夜間は義歯をお預りしポリデント消毒をしています。毎月1回は訪問歯科を受け義歯の清掃や口腔内チェックをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間オムツを使用される方であっても日中は声掛けを行いトイレ誘導を行なっています。排便が数日ない方もトイレ誘導を行ない腹圧がかかるよう援助し排便が出やすくなるよう支援しています。	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを把握して、昼間はトイレでの排泄を基本としている。夜間のみおむつ使用者もいるが、タイミングよい誘導によりおむつ使用から布パンツに移行した利用者もいる。パットの種類の検討など利用者に合わせた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分不足にならないよう小まめな水分補給を促したり食物繊維の多い物の摂取やおやつ時にさつまいもをお出しするなど工夫をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者様1人ひとりの生活習慣や希望に合わせて入浴していただいています。入浴拒否がある利用者様に対しては時間をおいて声掛けしたり声掛けする職員を替えたりするなど工夫しています。	入浴日や時間は決まっているが、状況に応じていつでも入浴可能体制となっている。浴室や脱衣場の温度調整を行い、個人の好みのシャンプーを使用している。気の合う人と一緒に入浴したり、二人介助・会話を楽しみながら、浴室が広くゆったりした入浴時間を確保している。拒否のある利用者には声かけの工夫や時間差で対応し、清拭や足浴なども行っている。補助具を使用したり、職員のローテーションを組み、利用者の希望に沿った入浴を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	一人ひとりの生活習慣を把握し 日中休息を取り入れたり夜間眠 れない利用者様には原因を見極 め安心して眠れるよう支援して います。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	利用者様が服用されている薬を 職員全員が処方箋に目を通し内 容を把握しています。薬の処方 や用量が変更された時はご本人 の状態を詳細に記録をとり医療 機関と連携を図れるようにして います。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活暦 や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をし ている	一人ひとりの能力を把握しお願 いできそうな仕事を頼み手伝わ ていただいた後は感謝の気持ち を伝えています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるように支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。	ご本人の希望や気分に応じて外 に散歩に出たりドライブに出か けたりしています。またご家族 様の協力を得て外出や外泊など されています。	日常的には天気の良い日は近隣 の散歩や菜園・ドライブ・買い 物等へ職員と一緒に出かけてい る。年間計画に沿っての園外活 動や地域行事への参加・花見や 外食など、家族の協力での墓参 りや外出・外泊等、外出の機会 が多い。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族様への同意、協力を得てお金を所持されている方、また事業所が管理している方とそれぞれですが利用者様が必要な物を購入できるように、また出来るだけご自分で支払をして頂くよう支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族様やご友人などに電話しやすい雰囲気作りや電話の設置場所の工夫、ご本人が出来ない時は希望に応じて取次ぎをしています。手紙の代筆もいつでも支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節がわかるように毎月のカレンダーを利用者様と一緒に作ったり季節の花をフロアーに飾ったりしています。空調等の調節を行い居心地の良い空間になるよう工夫しています。</p>	<p>共用空間は広く天井が高く天窓から明るい陽射しが差し込んでいる。室温・湿度の空調設備があり換気を行い加湿器も設置している。利用者と一緒に作ったイラスト入りの歌詞や毎年の抱負・折り紙・季節に合わせた絵画が壁に飾られている。テーブルに花があり、お喋りやぬりえをしたり、テレビを楽しんでいる。和室があり癒しやくつろげる環境が作られ、居心地良く過ごせる配慮がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアのスペースがある所にソファを置いたりテーブルや椅子を置き一人で過ごされたり仲の良い利用者様同士で寛げる場所を作っています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>昔から使用されている日用品や家族写真を貼ったりテレビを置いたり利用者様のライフスタイルに合わせた環境作りをして居心地良く生活出来るよう配慮しています。</p>	<p>居室にはエアコン・ベット・クローゼット・タンスが設置され、それぞれがテーブル・いす・仏壇・位牌・テレビなどを持ち込み、壁には家族の写真・手紙・手芸作品が飾られている。高窓から陽射しが差し込み明るい。ハンガーに好みの洋服やバッグが掛けられ心が和む。温・湿度計があり快適な居室環境である。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご利用者様、一人ひとりの能力を把握して利用者様同士の関係性などにも配慮しつつ出来る仕事をしています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない